

NO. 5	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	8	鈴木慎也	
<p>1. 木古内町民の「幸福度」について</p> <p>内閣府経済社会総合研究所（EFRI）が行った「第一回生活の質に関する調査」によると幸福度には主観的健康、世帯収入、婚姻状態、就業状態が影響していることが明らかになっており、人々が幸福度の向上や希望を持って生活できる社会の構築のためには健康状態の向上、雇用の増加策、老後の社会的支援策、子育て支援策の4点が特に政策的配慮への必要性が示唆されました。</p> <p>「国民の幸福を追求する国」のブータンが国是とするGNH（グロ・ノショナル・ハピネス）は国民総幸福量を表す指標として世界や日本でも注目されるようになり、いまでは地方自治体でも導入する動きが出てきています。</p> <p>我が町では特に少子高齢化が進んでおり、町民が必要としている施策がまだまだ考えられます。そのためには町民の声を「幸福度」で指標化し町民の幸福を一番の最優先として捉え、さらに向上するための施策を展開しなければならないと考えております。</p> <p>下記2点について町長の見解を伺います。</p> <p>①町民「幸福度」アンケートを実施。アンケートを実施することで、町民のニーズがよりの確に把握することができ、従来の評価に「幸福度」の指標化を加えることで施策や事業効果を判断する有意義な材料になると考えています。</p> <p>②先進的に取り組んでいる他の自治体への情報収集や有識者のアドバイス等を踏まえ、我が町の状況に適した具体的方法について幅広い角度から検討する考えはありますか。</p>			町 長